

SPECIAL STUDIES

学習イベント

真和高校の伝統と特色を打ち出す全員参加のイベント



善導寺研修

久留米市にある浄土宗大本山の寺院で、宿泊研修を行います。法話を聴き、お念仏を唱える意味を学び、写経を行います。1泊2日を通して心を洗い、物事の本質を見通す目を養います。



久留米大学医学部訪問

久留米大学医学部のご協力を頂き、毎年中学3年生の生徒が訪問します。医学部の研究・教育の現場を直接触れ学ぶ事で、医学部への進路選択を新たに加える生徒もいます。



近畿大学医学部訪問

修学旅行のプログラムの一つとして、近畿大学医学部訪問を実施しています。久留米大学医学部訪問と合わせて2度にわたる医学部訪問を通して、医師への道を志すことを最終的に固める生徒も多くいます。



中学発表会

中学生全員でその年で学んだ姿を、保護者を招いて発表します。作品展示や、英語劇の発表、合唱、合奏、そして有志によるバンド演奏など、日常の教室では見られない生徒達の様子が会場は大いに盛り上がりします。



英語新カリキュラム



新しい大学入試や新しい学習指導要領に真和ではいち早く対応。特に英語の授業では、書く、聞く、話す、読むの4技能の向上を図る授業カリキュラムを立ち上げました。また、GTECにも挑戦しています。

Problem-based Learning



中学3年生では、探究的な学習の総まとめとして、問題解決型の学習を行います。毎年、現代的な課題が取り上げられ、その発表の日には活発なディスカッションが行われます。「主体的に対話的で深い学び」の姿がここにあります。

小論文特別講座



毎年著名な講師を招いて、小論文の学習を集中的に行います。講演だけでなくその後の演習も含めて1か月ほどに及び講座は、大学入試に向けて着実な力を養います。

一人1台のタブレットパソコンの導入

令和3年度入学の中学1年生から、順次一人1台のタブレットパソコンの導入を進めていきます。感染症拡大防止のために長期に及んだ休校中も、真和中学・高校ではICTを活用したオンライン授業や学習教材提供を行い、学びをとめることはありませんでした。そのような充実したICT環境の中に、いよいよ一人1台の環境をめざしてスタートします。

積極的な参加で多彩な力を身につける
生徒の希望による学習イベント

■ 柴三郎プログラム

北里柴三郎博士の医学業績を記念して毎年熊本大学が主催するプログラムには、真和中学・高校生が数多く参加して医学や薬学の道に進んでいます。

■ ブラックジャックセミナー

熊本大学医学部が主催する医師を目指す高校生向けのセミナーです。毎年真和高校生の多くがこのセミナーに参加し、医師志望への道を明確にする生徒も大勢います。

■ 数学オリンピック

世界大会までつながる数学オリンピック。真和中学・高校生が最も燃える大会の一つです。その熱心な取り組みが認められて、県大会決勝の会場は毎年本校で実施されています。

■ キャリア甲子園

毎年1000チームを超える高校生チームが戦うビジネスコンテストです。最近の本校生徒の活躍はめざましく、三年連続で準決勝進出、2年連続で決勝進出を果たしています。



■ 科学の甲子園

全国の高校生が、科学の分野の課題に取り組む大会です。真和高校生のチームは毎年全国大会の常連校となっています。決勝戦で戦う生徒達の姿はまぶしい限りです。

■ 鉄緑会

現役東大生が講師を務める塾として有名な鉄緑会。真和中学・高校はこれまでの実績が認められて遠隔授業のスタイルで学校から学ぶ事ができます。

鉄緑会WEB講座とは受講資格に到達した生徒だけが受けられる特別講座です。令和元年度は中3から高3まで12人が受講しています。